

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市芳野町マンション 新築	階数	地上 5F
建設地	吹田市芳野町	構造	RC造
用途地域	準工業地域、指定なし	平均居住人員	117 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年2月 予定	評価の実施日	2023年11月1日
敷地面積	1,624 m ²	作成者	株式会社星羅建築事務所 永崎 淳
建築面積	954 m ²	確認日	2023年11月2日
延床面積	4,359 m ²	確認者	井上 光輝



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		その他
総合 内装はほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用し、防汚性の高い建材・仕上げ材を採用しており、LED照明器具の採用など、環境に配慮した計画をしている		特にありません。
Q1 室内環境 化学汚染物質の抑制に配慮している。	Q2 サービス性能 給排水管の使用管材の耐久性に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の緑化に努めた。
LR1 エネルギー 照明設備にLED照明を採用し、環境負荷が低減できるように配慮した。	LR2 資源・マテリアル リサイクル資材を極力使用している。	LR3 敷地外環境 道路境界側にできる限り緑化を設け敷地外からの環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)吹田市芳野町マンション 新築工事					
	建設地	吹田市芳野町					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					2	
③	建物の断熱性					3	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					対象外	
【評価項目】							
	項目	評価内容				スコア	評価
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.1	3
②	みどり・ヒートアイランド対策						
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価				3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価				2.0	
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.4	3
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				2.0	—
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-
その他							
		技術の名称			考慮事項		
	先進的技術の導入						
	特に配慮した事項						